



公立芽室病院 第90号 だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
または芽室町ホームページのトップ
ページからアクセスできます。

平成23年度病院経営状況について 患者数増と医業外収入の増で6年ぶりの黒字決算に

事務長 大野 邦彦

平成23年度の経営状況は、入院患者数が1日当たり111.7人で前年度と比較し6.0人の増、外来患者数は1日当たり423.6人で2.0人の減となりました。

入院収益は、12億2,622万円で前年度より3,062万円の増、外来収益は6億7,413万円で、前年度より1,578万円の増となりました。この収益を1人1日当たりで換算すると、入院では30,001円（前年度30,997円）、外来では6,735円（前年度6,535円）になります。その他、健診収益、町からの負担金等を含めた総収益は24億7,773万円となりました。

一方、支出面では、職員給与費が11億6,226万円で前年度より4,898万円の増、薬品費1億4,836万円で前年度より170万円の減、診療材料費1億2,468万円で前年度より395万円の減、その他経費7億7,558万円で前年度より453万円の減となり、その他減価償却費、企業債利息などを含めた総費用合計では24億5,578万円となりました。

この結果、収支差額は2,195万円で、6年ぶりの黒字決算となりました。

平成23年度末の累積欠損金（これまでの赤字額の総額）は5億1,336万円となりました。

また、医療機器の購入では電子カルテ端末装置1,155万円、超音波診断装置719万円、無影灯631万円など4,033万円を投じ35点の機器更新等を行いました。

このほか、施設費で無停電装置284万円、地デジ対応テレビ共聴設備改修工事109万円、など452万円を投じました。

平成23年度は、医師数の増（11人→13人）や4階障害者施設病棟の入院基準の見直し等により、医業収益が5,000万円近く増えました。また、一般会計からの繰入金の見直しにより、医業外収益も1億2000万円を超える増となりました。これらのことから久しぶりの黒字決算となりましたが、地域医療を取り巻く環境は医師・看護師不足など依然として厳しい状況が続いています。今後とも地域医療の充実を目指し、より一層の経営努力を続けてまいります。

事業収支の状況

項目	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
病院事業収益 A	24億7,773万円	23億444万円	1億7,329万円	7.5%
うち一般会計繰入金	4億140万円	2億6,974万円	1億3,166万円	48.8%
病院事業費用 B	24億5,578万円	24億1,830万円	3,748万円	1.5%
事業収支 A-B	2,195万円	△1億1,386万円	1億3,581万円	119.3%
入				
1人1日当たり入院収入	30,001円	30,997円	△996円	△3.2%
院				
1日当たり平均患者数	111.7人	105.7人	6.0人	5.7%
外				
1人1日当たり外来収入	6,735円	6,535円	200円	3.1%
来				
1日当たり平均患者数	423.6人	425.6人	△2.0人	△0.5%



ふれあい
看護体験
を終えて

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、広く国民が看護の心・ケアの心・助け合いの心を分かち合うことが必要です。このことを誰もが認識するきっかけとなるように厚生省（現厚生労働省）は平成2年、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」として制定しました。12日を含む日曜から土曜を「看護週間」とし、各地で様々な体験や催しが行われます。当院では、5月9日、芽室高校生12人が来院し、「ふれあい看護体験」をしました。高校生から寄せられた感想の一部を紹介します。

2年 片山 怜香 さん

私は、看護師という職業に興味がありもっと看護師について知りたいと思い看護体験に参加しました。実習では、血圧測定、産婦人科見学、患者さんの手を洗うなど、様々な体験をさせていただきました。

自分以外の人の手を洗うことは初めてだったので、すごく緊張しましたし不快に思われてしまうのではないかと不安もありました。ですが、手を洗わせてくださったおばあさんは、私が洗っている最中に「熱くないですか？」と話しかけると「はい」と少し嬉しそうに返事をしてくださって、私はこの少しの会話で勇気がわいてきました。そして何よりも、洗い終えた後に看護師さんがおばあさんに「気持ち良かった？」と尋ねると、おばあさんが頷いてくれました。それを見たときに、やはり人と直接関わって何かをして喜んでもらう、そんな仕事につきたいと強く思いました。（中略）

私は今回看護師という職業のやりがいと責任について身をもって体験することができました。この体験をもとにして、今後の進路を考えていきたいと思えます。

3年 奈良岡 佑樹 さん

私は、看護師を夢見て看護学校への進学を決めていたのですが、医療系や福祉系の専門学校の情報を見ていううちに、看護師になりたいという理由が曖昧になり、本当に看護師になりたいのかどうかをこの機会を通して確かめたいと思い参加しました。

緊張が解けないまま、男性患者さんの足浴を行うところを見せていただきました。それはただ患者さんの足を洗ってあげるだけのことで簡単そうに見えていました。しかし、患者さんから「ただ洗っているだけではなくて、傷などの具合を気にしているんだ」と教えられ、それからよく見ると、患者さんに変化はないかを探りながらであったり、声をかけながらコミュニケーションを大切に接するなど、違う見方ができました。そこから、看護師さんと患者さんがお互いをわかり合っただけでなく、しっかりとケアを行っているということに気づくことができました。（中略）
今回の看護体験を通じて、やはり絶対に看護師になってやるという強い気持ちを確認することができ本当に良かったと思いました。

3年 玉川 真央 さん

まず最初に白衣に着替えてから、赤ちゃんのお風呂を見学し、その後抱かせていただきました。手も足もすごく小さく壊れてしまいそうでした。とても軽かったのですが、なんだか少し重たくも感じました。助産師の方が、「これが命の重さなんだよ」と言っていたのを聞いて、命の貴さや、生命の大切さを改めて感じるすることができました。（中略）
看護という仕事は医療的なことだけではなく心のケアも必要だということ。そのためにはコミュニケーション力が必要になってくるということ。そして、患者さんと会話をしたときに、「心を込めて接していれば必ず相手に伝わるんだよ」ということを教わりました。

看護職求人 求職合同説明会 のお知らせ

（社）北海道看護協会主催の看護職求人・求職合同説明会が開催されます。直接面談形式で、複数施設から説明を受けることができます。看護師の資格をお持ちの方で、再就職をお考えの方は、是非会場にお越しください。

日時 7月27日（金）10時～15時
場所 とかちプラザ（帯広市西4条南13丁目1）

*当日は、個人面談・演習コーナー（11時～12時）などが開催されます。

問い合わせ （社）北海道看護協会ナースセンター帯広業務支所 ☎0155-21-3353
公立芽室病院看護科 ☎0155-62-2811